

プログラム番号	06038
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	国立大学法人 大阪大学 大学院工学研究科		
②学長名	宮原 秀夫		
③所在地	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	工学研究科 地球総合工学専攻・教授	
	担当者氏名	矢尾 哲也	e-mailアドレス yao@naoe.eng.osaka-u.ac.jp
	電話・FAX番号	電話 06-6879-7583 FAX 06-6879-7594	
⑤ホームページURL	<a href="http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/eng/info_course/special_course.html">http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/eng/info_course/special_course.html</a>		
⑥大学院在学留学生数	689人(うち、国費留学生 238人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	船舶海洋工学英語特別コース
②プログラムの形態	博士課程(一貫性)(5年間)
③実施研究科・専攻	大学院工学研究科 地球総合工学専攻
	(所在地) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番1号
④連携大学・研究科・専攻名	なし
⑤受入れ学生数	5人(うち研究留学生優先配置人数: 3人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	合計 21人(うち専任: 18人、兼任: 3人、非常勤: 0人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 大学院工学研究科・教授
	研究科長名 豊田 政男

### 【3. プログラムの内容】

#### (1) プログラムの概要

「船舶海洋工学英語特別コース」は、外国人留学生向けに平成16年度に開設され、英語による講義と研究指導が行われています。このコースとの連携を深めるため、通常の日本人向け「船舶海洋工学コース」でも英語を用いた講義を始めており、平成19年度より、全ての講義を英語で実施することが決定しています。その結果、外国人も日本人も同じ場で英語による講義を受けることができ、日本語を習得せずとも世界トップレベルの研究教育を受けることが可能です。

この英語特別コースにこのたび、文部科学省の奨学金を付与される研究留学生が優先的に3名配置されることになりました。これにより、優秀な外国人留学生を積極的に英語特別コースに参加させ、日本語を用いない英語使用のグローバルな大学院教育をよりいっそう充実させて定着させていきます。英語特別コースで実施される教育と研究指導は、世界のトップレベルにあるわが国の造船業を学術的に支えてきた国際レベルの船舶海洋工学に基礎を置くものであり、大阪大学の国際競争力を確保・強化する活動の一環としても注目されています。

#### (2) プログラムの特色

日本の海事産業はここ50年間に渡り、常に世界のトップの座に位置して来ました。その産業に対して継続的に人材の供給を果たしてきた地球総合工学専攻「船舶海洋工学コース」は、我が国において船舶海洋工学の先導的立場を堅持する数少ない教育・研究機関であり、教育と研究の両面で多くの実績と重厚な蓄積を有しています。このような地球総合工学専攻「船舶海洋工学コース」の教育と研究は、周辺諸国から極めて大きな関心を集めていますが、ここで教育を受け研究に携わるためには、従来は日本語能力を有することが条件となっていました。そのために、多くの優秀な若者が欧米の大学へ流れて行ったと考えられます。



このたび英語特別コースを設置し、しかも3名に文部科学省の奨学金が付与されることになりました。これらのことにより、学費および生活費が保証された状態で、しかも日本語習得の時間を省略できるため、外国人留学生は学業と研究に専心できます。さらに、日本人の学生を含む複数国の若者たちと一緒に国際的な環境の中で、世界トップレベルの教育を受け研究に携わることが出来ます。

#### (3) プログラムの内容

博士前期課程では、初めの1年間で講義を主体とした専門教育（基礎工学、船舶工学、海洋工学）を行います。さらに、ゼミナールによって船舶海洋工学関連の見識を広めると同時に主題研究を課し、研究立案能力を高めます。2年目になると本人の希望する研究課題を選択し、修士論文特別研究を実施します。

博士後期課程では、修士論文の成果と本人の希望を考慮して、主指導教員の教授（または資格を有する助教授）および他の副指導教員（教授、助教授、講師）が博士論文課題を設定し、英語による緻密な指導のもとで特別研究を行わせます。高いレベルの論文を作成させ、博士論文審査を経て所定の期間で確実に博士（工学）の学位を授与できるよう指導します。

研究分野としては、船舶設計学、船型デザイン、船舶構造強度学、海洋システム工学、海洋空間開発工学、海洋機械システム工学、数理解析学の7つの分野（研究室）があり、希望した課題に応じて、これら7つの分野の研究室のいずれかに所属して、研究活動に従事することになります。

#### (4) 外国人留学生支援体制

外国人留学生に窓口で接する事務職員は、各種海外研修や国内語学研修によって英語での対応努力を高め、日本語を話せない外国人留学生にも十分対応できる能力を備えています。留学生センターでは、日本語教育や留学生交流プログラムを提供しているほか、精神健康相談を含むカウンセリングに常時対応しています。

さらに、留学生相談部でも、住宅、イベントなどの情報提供やカウンセリングを行っています。留学生相談部では、英語と日本語の他に、中国語、スペイン語、ポルトガル語も使用言語としています。さらに、各留学生に大学院生1名がチューターとして付き、学習、研究、日常生活をサポートしています。



#### (5) 募集方法および選考方法

関係大学・研究機関へ募集に関する書類を送付しています。また、工学研究科と船舶海洋工学コースのホームページ上に、本コースへの外国人留学生募集案内の英文ページを用意しています。

選考は、大阪大学大学院工学研究科に選考委員会を設置し、応募のあった外国人留学希望者の中から、書類審査により外国人留学生候補者を選考し、文部科学省へ推薦します。選考の最終結果は、応募用紙記載の住所宛郵便で送られます。

